

高木復興大臣岩手県・青森県訪問ぶら下がり会見録
(平成28年5月14日(土) 1815～1821 於) 青森県八戸市)

1. 発言要旨

本日は、岩手県久慈市、野田村、洋野町、そして青森県八戸市を訪問させていただきました。

岩手県では波力発電施設や水族館、区画整理事業、水産施設の視察や三陸鉄道の乗車、そして八戸市では蕪島と津波避難タワーの視察を行いました。

三陸沿岸に設置可能で、消波効果もある波力発電施設の整備は、エネルギーの地産地消や、持続可能な地域をつくり出す夢のあるプロジェクトだと感じました。

また、17メートルを超える大津波の被害から立ち直り、先日再オープンした水族館もぐらんどあでは、海女さんの実演など地域の特徴を生かした展示が工夫され、多くの家族連れで今日もにぎわっております。

地域の足として、また三陸の人気ある観光資源として運転が再開されている三陸鉄道、本日も力強く復興を牽引している、地域を元気づけてくれているというふうに感じました。

野田村の城内地区の区画整理事業は終盤に入っておりまして、宅地はほぼ完成、建物も半数ほどは建築を終えて、地域のまとまりがよくて住民が戻りつつあるという状況をお聞きいたしました。

津波で稚ウニの流出など大きな被害を受けた洋野町の水産施設は完全復旧をし、元気な姿で栽培漁業を行い、地域の経済を支えておりました。

三陸復興国立公園の起点にもなる蕪島では、復興交付金で整備した休憩施設を中心に、神社と海ネコを生かしたにぎわいづくりを進めておりました。

また、多賀地区での津波避難タワーを含む安全なまちづくりも着実に進められているということを確認させていただきました。

北三陸ではハードとともにソフトの復興が本格化しており、久慈市長もこれからが地方創生に向けた本当の復興だと言われていらっしゃいました。復興庁としても地域の経済や生活を支える産業、生業、観光などソフト面での復興の支援に引き続き全力で取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 先程、もぐらんどあとか三陸鉄道というお話がありました。

大臣、観光の復興振興に力を入れていると思うんですが、今

日見て、また改めて今後どのような支援でありますとか、観光に力を入れていくかという辺りを教えてください。

(答) 今年を「東北観光復興元年」と位置づけて、インバウンドを3,000万人あるいは4,000万人を目指すという状況でありますけれども、東北のインバウンドに限らず、復興が、観光が他の地域に遅れをとってはいけないということで、そうしたことをさせていただいております。

今日は、本当に東北はいろいろなポテンシャルを持った観光資源がございますけれども、そうした中でも大変魅力ある施設を見させていただきまし、先程も申し上げましたとおり、それぞれの地域がその地域の特性を生かして工夫をして、交流人口を増やしていこうという努力を見せていただきました。

これから復興庁としてもしっかりと、更に東北の観光が進むように様々な支援をしてまいりたいというふうに思いますし、またそれぞれの地域で更に工夫をしていただけるような、そのような支援もさせていただきたいというふうに思っております。

(問) 今日、青森県に来られたのは、就任後初めてだったと思われるんですけども、ご覧になって、復興の状況というのは、どのようにお感じになりましたか。

(答) 大変な被害を受けながら、5年間、市長さんはじめ、住民の皆様方の御努力によって、しっかりと復興がなし遂げられているというふうに感じました。

まだ、一部これからというところもございますので、更に復興庁としてしっかりと支援をさせていただいて、復興がしっかりとなるように、そして更に、新しい東北という表現もしておりますし、また地方創生のモデルとなるような復興ということに取り組んでおりますので、そうした姿を取り戻していただけるように、引き続き支援をしてまいりたいというふうに思います。

(問) 先程、蕪島を御覧になって、そこを起点とした三陸への復興というのがあると思うのですが、今後どのような可能性を観光につなげていけるというふうにお感じになりましたでしょうか。

(答) 三陸復興国立公園の起点でもあります蕪島でありますけれども、様々な観光資源、魅力的な観光資源、あるいは大変おいしい水産物などもありますので、これからの努力でありますけれども、しっかりと頑張っていけば本当に多くの方が来てくれていると思いますし、また来ていただくことによって被災地の皆様方が元気にもなっていただきます。あるいはまた、教育旅行などにも是非活用といいますか、来ていただいて、震災を風化させない、あるいは災害列島ともいふべき日本でありますから、こうした教訓を防災という意味において生かしていただけるというふうに思います。

から、すばらしい観光資源、今申し上げたとおりあるわけでございますので、多くの方に来ていただいて、そうしたことに繋がっていくと大変いいなと思います。

(以 上)